

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公開番号】特開2008-189570(P2008-189570A)

【公開日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2007-23790(P2007-23790)

【国際特許分類】

A 0 1 N 37/44 (2006.01)

A 0 1 N 37/46 (2006.01)

A 0 1 P 21/00 (2006.01)

A 0 1 G 7/06 (2006.01)

A 0 1 G 7/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 37/44

A 0 1 N 37/46

A 0 1 P 21/00

A 0 1 G 7/06 A

A 0 1 G 7/00 6 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月3日(2009.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

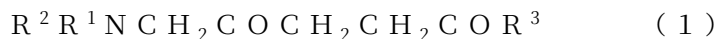
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)



(式中、 R^1 及び R^2 は各々独立に、水素原子、アルキル基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリール基又はアラルキル基を示し； R^3 はヒドロキシ基、アルコキシ基、アシルオキシ基、アルコキシカルボニルオキシ基、アリールオキシ基、アラルキルオキシ基又はアミノ基を示す。)

で表される5-アミノレブリン酸、その誘導体又はそれらの塩を有効成分として含有することを特徴とする、ホップのアルファ酸又はホップオイル含量向上剤。

【請求項2】

さらに、ベータ酸含量を向上させるものである、請求項1記載のホップのアルファ酸又はホップオイル含量向上剤。

【請求項3】

ホップオイルが、ミルセン又はファルネセンである、請求項1又は2記載のホップのアルファ酸又はホップオイル含量向上剤。

【請求項4】

1回あたり0.001～1000ppm適用することを特徴とする、請求項1～3のいずれか1項記載のホップのアルファ酸又はホップオイル含量向上剤。

【請求項5】

葉、茎又は根から吸収させるものである請求項1～4のいずれか1項記載のホップのアルファ酸又はホップオイル含量向上剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

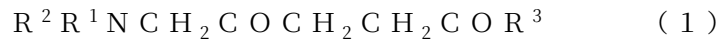
【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

すなわち、本発明は、下記一般式(1)



(式中、 R^1 及び R^2 は各々独立に、水素原子、アルキル基、アシル基、アルコキシカルボニル基、アリール基又はアラルキル基を示し； R^3 はヒドロキシ基、アルコキシ基、アシルオキシ基、アルコキシカルボニルオキシ基、アリールオキシ基、アラルキルオキシ基又はアミノ基を示す。)

で表される5-アミノレブリン酸、その誘導体又はそれらの塩を有効成分として含有することを特徴とする、ホップのアルファ酸又はホップオイル含量向上剤を提供するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】